

日身連

発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)
 発行人 阿部 かつ彦
 東京都豊島区目白3丁目4の3
 デアダンクビル4階
 TEL 03-3565-3399(代)
 FAX 03-3565-3349
<http://www.nissinren.or.jp>
Japanese Federation of Organizations of the Disabled Persons (JFOD)
 年間購読料 正会員1部 300円
 非会員1部 1000円

関東・近畿・中四国ブロック ブロックで身体障害者相談員研修会開催

6ブロックでは、毎年、身体障害者相談員の相談活動の強化や、相談技術の研鑽などを目的に研修会を開催しています。9月から10月にかけて開催された研修会の模様をお伝えします

◆近畿ブロック身体障害者相談員研修会
 10月16日、京都テルサ(京都市)において、開催されました。参加者は538名、主管は京都府身体障害者団体連合会でした。
 研修会では、「補装具費支給制度等について」をテーマに、厚生労働省障害保健福祉部企画課自立支援振興室福祉用具専門官の徳井亜加根氏が講演を行いました。義肢装具士でもある徳井専門官は、障害者総合支援法に基づく補装具と日常生活用具との違いや、補装具費支給制度を中心に、近年の予算動向などのデータを踏まえて、制度の



近畿ブロック身体障害者相談員研修会の模様

仕組みなどを詳しくご説明いただきました。
 なお、同日午前中には、近畿ブロック福祉大会が併催されています。



中・四国ブロック身体障害者相談員研修会の模様

◆中・四国ブロック身体障害者相談員研修会
 10月5日、愛媛県県民文化会館(愛媛県松山市)において、開催されました。参加者は111名、主管は愛媛県身体障害者団体連合会でした。
 研修会は、全盲難聴の障害がありながら、努力と工夫を重ねて、愛媛大学大学院理工学研究科博士後期課程を修め、現在は県立松山盲学校教員や聖カタリナ大学非常勤講師を務める高橋信行氏(えひめ盲ろう者友の会理事)を招き、「その時、障がい者は何を思うのか?」と題した講演を行いました。
 後半は事例発表として、川崎健二宇和島市身体障害者相談員が、「行政のパイプ役としての相談員活動」、越智義則西条市身体障害者相談員が、「出会い系サイトをめぐる金銭トラブル」といった事例を発表しました。



関東甲信越静ブロック身体障害者相談員研修会の模様

◆関東甲信越静ブロック協議会身体障害者相談員研修会
 9月27日、群馬県社会福祉総合センター大ホール(群馬県前橋市)において、ライブ配信により開催されました。参加者(視聴者含む)は254名、主管は群馬県身体障害者福祉団体連合会でした。
 研修会は、主に県内参加者を集めた会場から、YouTubeによるライブ配信で行われました。内容は「補装具費支給制度等の動向について」として、厚生労働省障害保健福祉部企画課自立支援振興室福祉用具支給調整官・障害者支援機器係長の田中匡氏が講演を行いました。